

茨城大学人文社会科学部 地域志向教育プログラム

「地域 PBL 演習」(2019 年度 前期・後期)

発表会



担当教員 井上拓也・西野由希子



2019 年 1 月 22 日 (水) 16:00~18:00



茨城大学 図書館ライブラリーホール

土浦らしさを活かした 国際交流

地域PBL演習 国際交流チーム
岩田健太郎 木村井泉 戸澤琴音

1

1

目次

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 経緯と土浦市の概要 <ul style="list-style-type: none"> 1-1 企画決定までの流れ 1-2 土浦とは 土浦市の概要 1-3 土浦と周辺の外国人 1-4 国際交流とは 1-5 土浦市役所市民活動課国際係の取り組み 1-6 土浦市国際交流協会とは 1-7 土浦の国際交流の課題 1-8 活動の目的 2 国際交流茶会について <ul style="list-style-type: none"> 2-1 土浦と茶道の関係 2-2 土浦市立博物館と土浦二高茶道部のお茶会 2-3 国際交流茶会（当日の流れ） 2-4 当日の活動風景 | <ul style="list-style-type: none"> 3 アンケート結果 <ul style="list-style-type: none"> 3-1 外国人客 3-2 日本人の企画参加者 3-3 土浦二高茶道部の生徒 4 まとめ <ul style="list-style-type: none"> 4-1 活動やアンケートから得た成果 4-2 土浦市役所からの提言、国際交流に対する考え 4-3 土浦市立博物館からの提言、国際交流に対する考え 4-4 活動を通して考えたこと 4-5 カウンターパートへの提言 |
|---|--|

2

2

1-1 企画決定までの流れ

- ▶ 最初に、「茨城県南部」と「国際交流」をキーワードとして活動することに決めた。
- ▶ 次に、土浦市の課題や、外国人の関心がありそうなものを探した。
- ▶ そして、土浦と茶道には、歴史的に関係があることが分かった。
- ▶ 毎年1回、土浦市立博物館でお茶会が開かれていることが分かり、今回外国人と共に私たちが参加させてもらえることになった。

3

3

1-2 土浦とは 土浦市の概要

- ▶ 人口・・・138610人（令和元年6月）
- ▶ 日本で2番目に大きい湖、霞ヶ浦がある
- ▶ 花火大会、土浦城、亀城公園、レンコンなどが有名
- ▶ 古い歴史を持つ街
- ▶ 外国人人口は4247人（令和元年6月）
- ▶ 県では3番目に多い

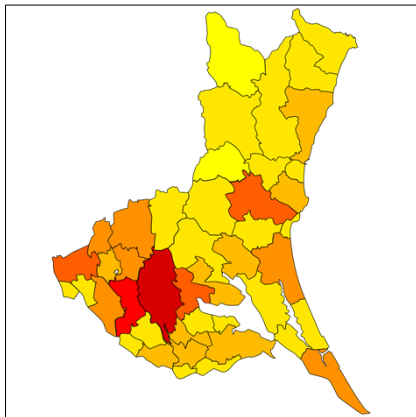


4

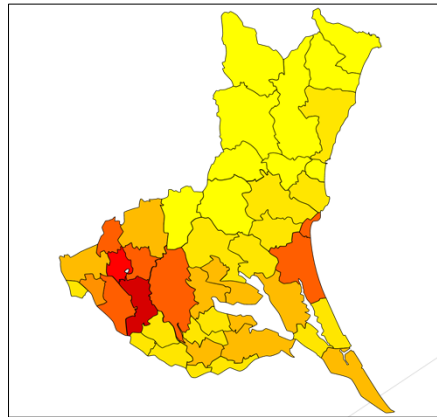
4

1-3 土浦と周辺の外国人

茨城県市町村外国人人口



茨城県市町村外国人人口割合



5

5

1-4 国際交流とは

・現在の土浦市における国際交流は、市の総合計画によれば、「多文化共生社会の実現」を方針としており、施策や事業も、「まちづくり」や「外国人への生活支援」が中心になっている

⇔自分たちの活動では、「伝統的な国際交流」の視点から国際交流活動を行った

（ここでは「伝統的な国際交流」を、「外国人が文化や伝統を体験し、それを自分の国に広めてもらうことを狙いとするもの」と定義する）

6

6

1-5 土浦市役所市民活動課国際係の取り組み

- ① 姉妹都市パロアルト市・友好都市フリードリッヒスハーフェン市の交流事業
→中学生交換交流事業など（土浦国際交流協会と共催）
- ②多文化共生推進プラン
→誰もが暮らしやすい多文化共生の地域づくりの実現に向けて、平成25年度と26年度に作成。
- ③外国人生活ガイドブック
→転入・転出届などの各種届出、国民健康保険、ごみの出し方などを7か国語で作成。

7

7

1-6 土浦市国際交流協会とは

- ①法人格を有しておらず、組織としては弱い
（県内で法人格を有しているのはつくば市、水戸市、結城市のみ）
- ②設立年：1992年
- ③会員数：132人（個人115、団体15、法人16）
（平成30年現在）
- ④事務局：土浦市役所市民活動課国際係
- ⑤予算：収入・支出共に約980万円（令和元年）
- ⑥財源：会費・補助金・寄付金など
- ⑦主な活動：中学生交換交流事業、かすみがうらマラソン大会招待選手対応、地域ふれあい事業、日本語教室等

8

8

1-7 土浦の国際交流の課題

土浦市から見た課題

- ▶ 土浦ならではの資源を活かしきれていない
- ▶ 土浦にいる外国人とあまりコミュニケーションが取れていない
- ▶ 地域ごとの外国人の特性を活かした交流が行えていない

私たちから見た課題

- ▶ 活動に土浦らしさがない
- ▶ あまり国際交流協会などの知名度がない
- ▶ 土浦市外（つくば市など）の外国人とのかかわりの方が多い

9

9

1-8 活動の目的

- ▶ 外国人人口が茨城県で3番目に多い土浦市での国際交流を、より盛んに、外国人にとってより身近にする。
- ▶ あまり知られていないと思われる土浦と茶道の関係や魅力を、外国人や土浦市民に知ってもらう。
- ▶ 外国人に、土浦と茶道の関係を自国に発信してもらい、それらの魅力を広める。

10

10

2-1 土浦と茶道の 関係

・江戸時代に、土浦を支配した土浦藩主である土屋氏は、茶道を嗜んでいた。
⇒特に、2代藩主である土屋政直は、大名茶人として知られている小堀遠州に傾倒し、幾多の茶器を収集していたといわれている。このことから、土浦と茶道には関係性があるのではないかと考えた。

・土浦市立博物館の副館長である木塚久仁子さんは、土屋氏の調査研究に膨大な時間を費やして来られた。しかし、それに関する史料は少なく、苦勞されることも多かった。

11

11

2-2 土浦市立博物館と土浦二高茶道部のお茶会

- ▶ 毎年文化の日に、土浦市立博物館は、土浦第二高等学校茶道部の生徒と茶会を開いている。
- ▶ 高校生や博物館職員、一般のお客さんの約100人で行う茶会である。



土浦市立博物館

<https://www.city.tsuchiura.lg.jp/page/page009420.html>より引用



12

12

2-3 国際交流茶会（当日の流れ）

①呈茶

⇒茶道部の生徒が点てたお茶を、学生・外国人だけでなく、一般のお客様も楽しんだ。

②点茶体験会

⇒自分たちがメインとなって、外国人の方などに
お茶の点て方をレクチャーした。その際、土浦二高茶道部の
生徒にも間に入っていた。

③アンケート記入

※①の前に、ポスターを見せた。

13

13

2-4 当日の活動風景



14

14

3-1 アンケート結果①（外国人客）

	興味がある	少し興味がある	あまり興味がない	興味がない
あなたは日本文化に興味がありますか	3	0	0	0

	インターネット	本・雑誌・新聞	テレビ	家族・友人・知人	その他
あなたは茶道をなにごで知りましたか (複数回答可)	2	0	0	1	1

	興味がある	少し興味がある	あまり興味がない	興味がない
あなたは土浦の歴史に興味がありますか	2	1	0	0

	思う	少し思う	あまり思わない	思わない
あなたは、今後茶道を多くの人に広めたいと思いますか	3	0	0	0

15

15

3-2 アンケート結果② （日本人の企画参加者）

	興味がある	少し興味がある	あまり興味がない	興味がない
あなたは、日本文化に興味がありますか？	1	2	0	0

	インターネット	本・雑誌・新聞	テレビ	家族・友人・知人	覚えていない	その他
あなたは茶道をなにごで知りましたか。 (複数回答可)	0	0	0	0	2	1

	興味がある	少し興味がある	あまり興味がない	興味がない
あなたは、土浦の歴史に興味がありますか。	1	1	1	0

	思う	少し思う	あまり思わない	思わない
あなたは、今度茶道を多くの人に広めたいと思いますか。	1	0	2	0

16

16

3-3 アンケート結果③ (土浦第二高等学校茶道部の生徒)

	興味がある	少し興味がある	あまり興味がない	興味がない
あなたは国際交流に興味がありますか。	0	3	0	0
	はい	いいえ		
あなたは土浦国際交流協会を知っていますか。	0	3		
	はい	いいえ		
あなたはこれまでに国際交流のイベントに参加したことがありますか。	1	2		
	思う	少し思う	あまり思わない	思わない
あなたはこれから国際交流のイベントが身近で開催される場合、参加したいと思いますか。	0	3	0	0
	はい	いいえ	わからない	
あなたは現在の姉妹友好都市（パロアルト市）の取組は十分なものであると考えますか。	0	0	3	
	はい	いいえ		
あなたは土浦と茶道の関係を知っていますか。	2	1		

17

17

4-1 活動やアンケートから得た成果

外国人と土浦市周辺住民が気軽に交流できる時間を作れた。

- ▶ 交通面や料金で考えると市民が気軽に訪れることができる土浦市立博物館で、総勢100人を超える日本人と外国人が集まる中で、イベントを行えたから。

外国人に、土浦、茶道、土浦と茶道の関心に興味を持っていただけた。

- ▶ イベントで外国人に、土浦と茶道を紹介するポスターを見ていただき、イベント終了後のアンケートでポスターが「わかりやすかった」「きれいだった」との声を頂いたから。

18

18

4-2 土浦市役所からの提言、 国際交流に対する考え

○提言

・イベントがどんなものであっても、企画の立案、実現性、協力していただく方の調整、PR方法、実際の集客、当日のスタッフの動きや客の誘導方法といったプロセスや準備が必要となる。

⇒大学生でありながら、今回の演習に挑戦したことで、学ぶところが大きかったのではないだろうか。

○国際交流に対する考え

・今回のお茶会のように、日本の文化を外国人の方に紹介できる企画をこれから事業に取り入れていければと感じた。

19

19

4-3 土浦市立博物館からの提言、 国際交流に対する考え

○提言

・土浦二高生にとっても、協力という形で参加するのであれば、とても良い経験になるのではないかな。

・日本文化に興味のある留学生が勉強している語学学校などに事前に行って、話をする機会が作れば良かったと思う。

・3人で協力して進められているようで良かった。

○国際交流に対する考え

・土浦の博物館としてできること、博物館らしさの中でできることを、これからも行っていきたいと考えている。

20

20

4-4 活動を通して考えたこと

- ▶ 地域の力を発信するためには、自分たちがその地域の魅力を知らなくてはならない。
- ▶ プロジェクトを通して、社会に影響を与えることが難しかった。
- ▶ 少人数の方が、意見や企画がまとまりやすい。
- ▶ 広報は、チラシだけでは効果が薄かったかもしれない。
- ▶ 国際交流を行うことのメリットを、より具体的にカウンターパートや土浦市民、外国人に提示できればよかった。
- ▶ 学生がプロジェクトを実現させるためには、カウンターパートの介入がある程度必要。

→ 私たちの意向を受け入れ、学生の予算では調達できない備品もカウンターパートの博物館に用意していただいたり、市役所には、チラシの配布をしていただいた。そのような、手厚い対応をしてくださったカウンターパートの方々には深く感謝し、関わりを大切にしていきたい。21

21

4-5 カウンターパートへの提言

○土浦市役所市民活動課国際係

- ・ 土浦にしかないモノ、コトの魅力を発信するだけでなく、それを受けた人々が広めたいような発信の仕方考えてみるのはいかがでしょうか。
- ・ 土浦市民でも知らないような、隠れた資源、穴場スポットなどの紹介を積極的に行うのはいかがでしょうか。
- ・ 多文化共生だけでなく、日本人と外国人で伝統文化を紹介し合う機会を作るのも良いのではないかと。

○土浦市立博物館

- ・ 外国人客向けに、英語や中国語でも展示説明の表示を用意するのはどうか。
- ・ 土浦市役所の国際係と連携して、外国人客限定の博物館ツアーを行い、土浦の歴史や、魅力の理解を深めてもらうのはいかがでしょうか。
- ・ 土浦市民向けに、自分たちも知らないような土浦の歴史をめぐるツアーや、土浦城を生かしたイベントを行うのはいかがでしょうか。

22

22

ご清聴ありがとうございました！

23

フィットネスから始まる地域交流

フロイデフィットネスチーム

青木玲奈・小田倉大智・小野瀬篤美

菊池七海・佐藤健太・鈴木葵・茅根空良

1

目次



概要 チームとフロイデの関係



目的 理想形から実行への落とし込み



活動 2軸の活動内容



考察

2

施設概要

医療法人博仁会

フロイデ水戸メディカルプラザ

医療・介護・リハビリ・予防・生活の機能を持った地域共生機能拠点

カフェ・フィットネスルーム・地域交流スペースなども



3

フロイデの理想 「多世代交流が盛んな施設にしたい」

フロイデ水戸
メディカルプラザ
の目的

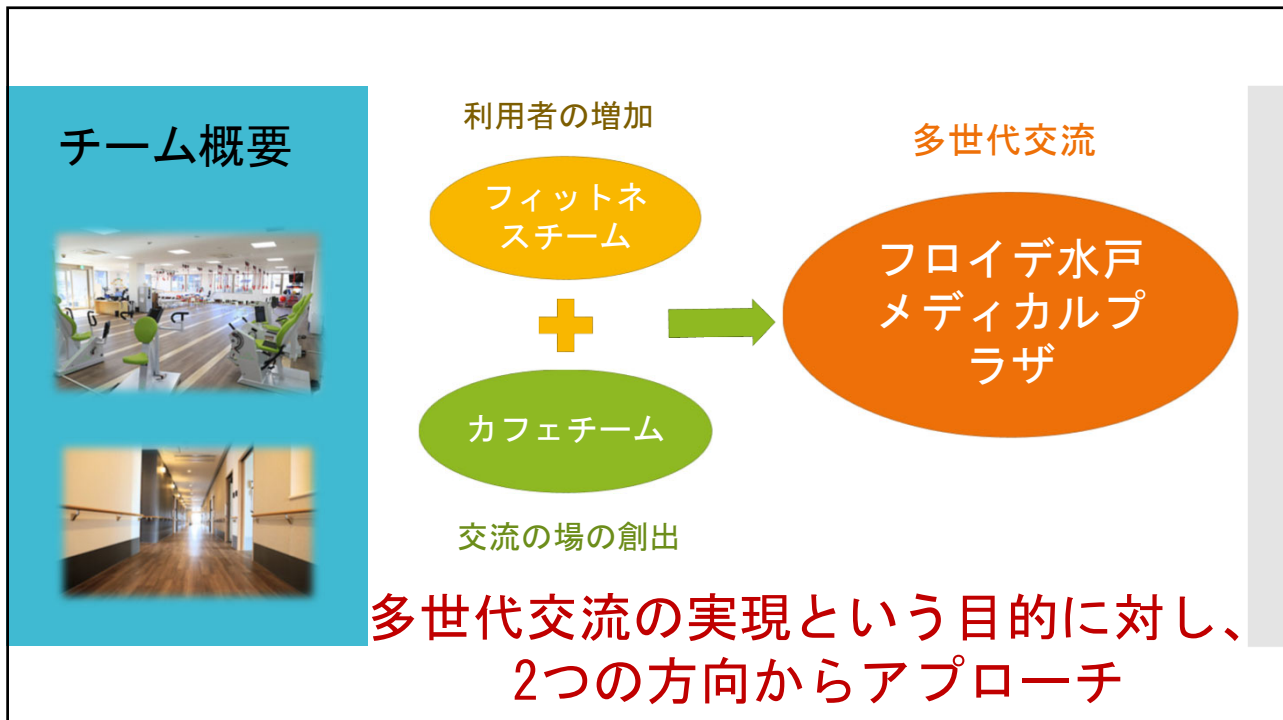
なぜ多世代交流？

↓

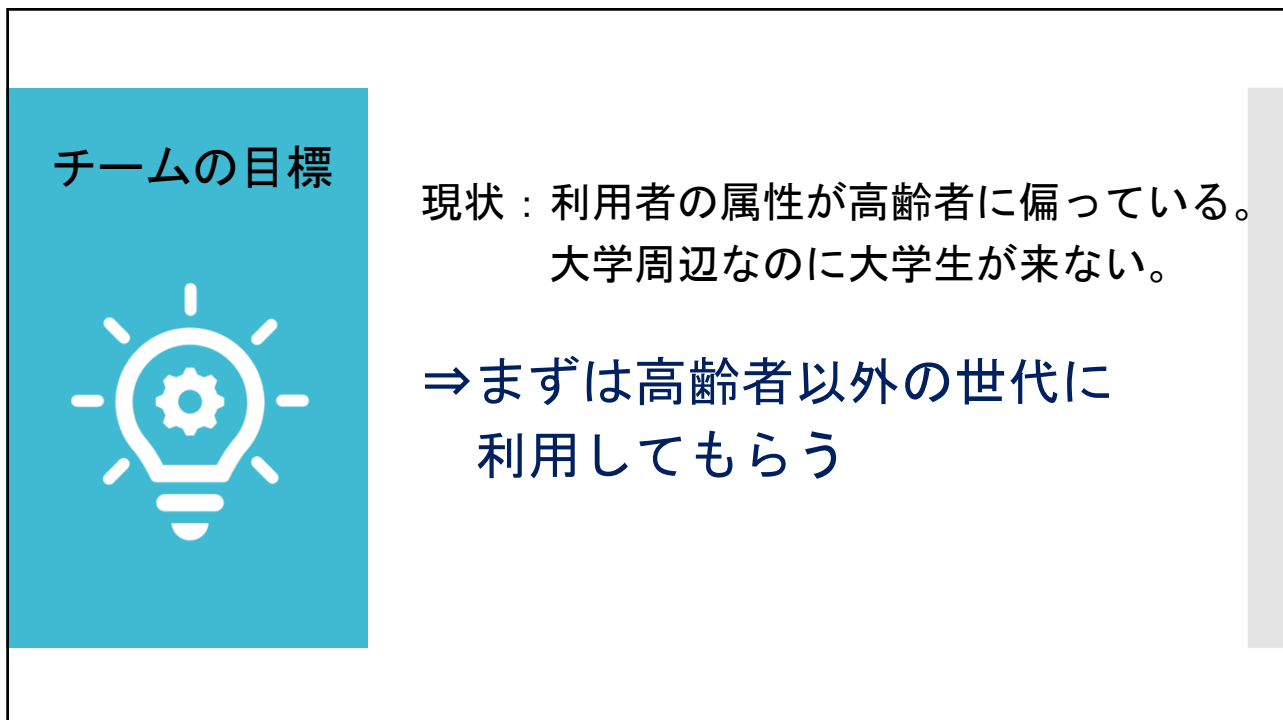
- ・水戸市民同士のつながりを生むため
- ・居住者たちが孤独感を覚えないようにするため



4



5



6

活動内容



①フィットネス体験会の企画・運営

目標：認知度向上・敷居を下げること

②プラン作成

目標：需要とのズレをなくすこと→継続性



7

活動①フィットネス体験会の企画・運営

参加者からの意見

実施日 2019/12/22

活動内容

- ・器具の使用方法
効果の説明
- ・グループごとに
全ての器具を体験

良かったこと

- ・様々な器具が実際に体験し、使い方を知れたこと
(同様意見7)
- ・お兄さんがやさしく、教え方が丁寧だった(2)
- ・器具ごとの効果やコツを知ることが出来た

気になったこと、改善点

- ・ウォーターサーバーが欲しい
- ・水分補給を手軽にできると嬉しい
- ・入口が入りにくかった
- ・もう少し器具を増やしてもいいのでは

8

活動② プラン作成



茨大生向けのプラン作成に当たり、
アンケートを二回実施

→**需要のデータ化**

9

アンケート 結果

実施期間11/25～12/6

集計人数 270人

有効回答数 234人

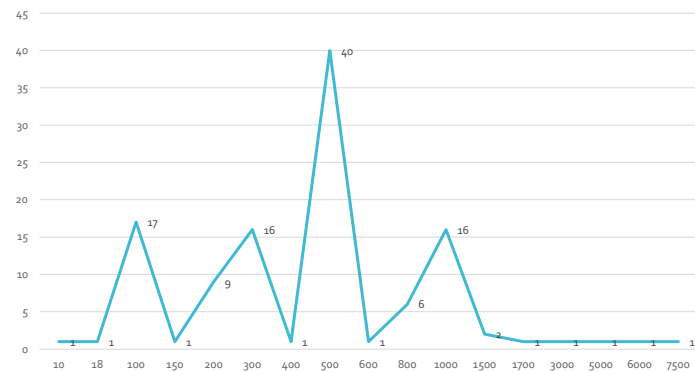
- ・運動に興味がある人が76% (186人)
- ・運動の習慣がある人が55% (135人)
- ・ジムに通ったことがない人が89% (214人)
- ・過去にジムを通っていた人の辞めた理由は「面倒になった」
- ・現在、ジムに通ってない人が90% (221人)
- ・通わない主な理由は「利用料の高さ」「時間がない」
- ・「水戸メディカルプラザ」を知らない人は86% (209人)

10

第1回 アンケート



理想の1日の使用料

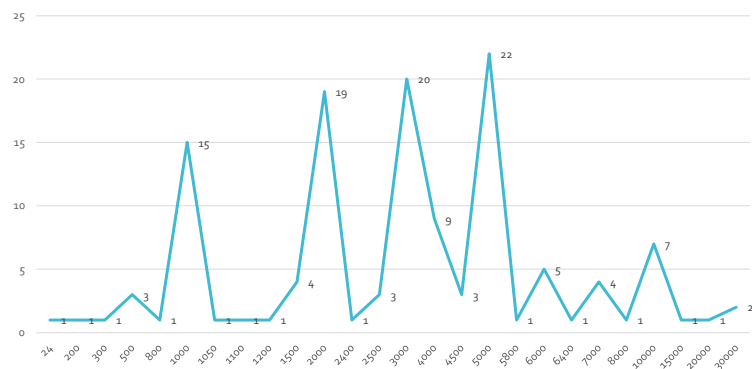


分析結果①
最も多くの学生が理想としている価格は1日あたり500円である。

11

アンケート結果 分析

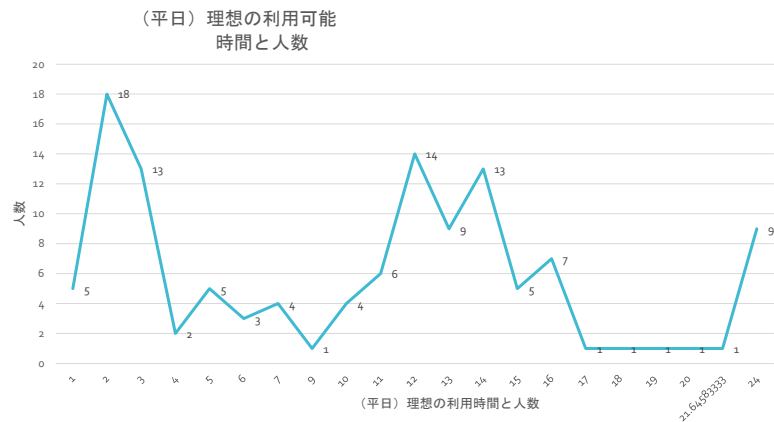
一カ月の使用料



分析結果②
1000円の低価格を理想とする集団と、2000、3000円、5000円の集団と前後が1000円の差異のばらつきがみられた。

12

アンケート結果分析



分析結果③

2時間程度の短時間での利用を理想としている集団と、10時間以上を理想とする集団。

13

第2回アンケート

- ・実施期間 12/22
- ・集計人数 12人

- A 朝活プラン(3000円)
- B 使い放題プラン(5000円)
- C 放課後プラン(2000円)



	Aプラン	Bプラン	Cプラン
利用したい	0	1	5
時間が合えば利用したい	5	0	4
あまり利用したくない	2	3	0
利用しない	1	1	1

14

アンケート結果 分析



意見

- A 朝活プラン (3000円)
 △朝空いている日が限られているから
 △午前は疲れる
- B 使い放題プラン (5000円)
 △そこまで使う時間がないため、この値段だと高く感じる
- C 放課後プラン (2000えん)
 ○授業後に利用したい
 ○放課後時間があれば
 ○授業後の利用なら可能
 ○価格が手ごろ

分析結果④

放課後に利用したい人が多い!

15

プランの確定 アンケート結果をもとに新たにプランを作成
 →2月以降、実際に3つのプランが施行されます!

分析結果①より
お試しプラン
 (月4回)
3000円

分析結果③、④より
平日PMプラン
4000円

分析結果②より
茨大生限定
レギュラープラン
6000円



16

反省と提案



良かった点

- ・統計的に有意な数値から新プランが提案できた。



反省点

- ・体験会への案内を広範囲でおこなうことができなかった。
- ・これからプラン実施のため、プランの効果測定できていない。

→今後の活動提案：広報・プランの効果測定

17

今後の展望

フィットネス利用者が増加



フィットネスの空間の中で多世代にわたる
新たなコミュニティが形成



18



多世代地域交流を めざして

フロイデカフェチーム

伊澤莉央・河野遥南・岸朱里・重富優希・廣木彩乃・宮田春那・吉成美智

1

1

目次

- 1) 背景
- 2) 活動① カフェの活用
＜スタンプカード作成＞
- 3) 活動② 地域交流スペースの活用
＜キャンドルクラフト教室＞
- 4) 今後の展望
- 5) フロイデ2チームの振り返り
- 6) 最後に



2

1)背景



コンセプト
「健院」

フロイデ水戸メディカルプラザ

医療・介護・リハビリ・予防・生活の機能を
持った地域共生多機能拠点

3

3

【医療】フロイデクリニック水戸

内科診療・訪問診療・予防接種など
X線・エコー・心電図等の設備あり



〈時間〉
午前 9時～12時
午後 14時～17時

【リハビリ】デイケアセンター

短時間サービスが特徴のリハビリ

リハビリ専門職を多数配置し
軽度者～重度者に対応



【住まい・介護】 居宅介護・老人ホーム

高機能な見守りシステム導入

すべて個室の老人ホームと
通い・泊り・訪問が可能な
居宅介護



【予防】フィットネスセンター

最新機器・システムを導入
一人一人に合わせた
トレーニングが可能

↓
フィットネス
チーム



4

【生活】コミュニティカフェ

管理栄養士監修のお手頃ランチ
サザコーヒー等ドリンクも充実
電源・Wi-Fi完備



【生活】地域交流スペース

地域の方との活動・交流の場
ワークショップや会議にも
プロジェクター・
スクリーン完備



＜当チームの課題＞

カフェ・地域交流スペースの活用を軸に
施設の「多世代地域交流拠点」としての
活用方法を考える

5

5

2) 活動① カフェの活用

- 目的：カフェの活用を通して、施設をより多くの人に知ってもらう

- 手段：**スタンプカード作成**

- ・ カフェへの来店動機・頻度を高めるため（リピーターの創出）
→ポイントが貯まる様子を目に見える形にしたら良いのではないかな？
- ・ 学生のアイデアを継続的に使用してもらうことができるため



他にもレシコンテストなど、様々なアイデアがあったが、
実施期間などを考慮してスタンプカードに決定

6

6

<スタンプカード作成>

①カフェ単体のスタンプカード案を提案



シンプルで誰にとっても分かりやすいという**実用性**はもちろん、**カフェの雰囲気**にあわせた、**遊び心**のあるスタンプカードを作りたい！

内容：カード記載事項・システム(ポイントの付け方や特典)

外見：レイアウト・デザイン を決定

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">店名</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; margin: 10px auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> カフェ の ロゴ </div>	営業時間 8:30-17:30 (LO 17:00) TEL 0000-00-0000 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center; width: fit-content; margin: 5px auto;">お客様のお名前記入欄</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> カフェのコンセプト を基にした、物語風 のカフェの紹介文 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <スタンプ面> マス目ではなく、 マップ・迷路のような デザイン <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center; font-size: 8px; margin-top: 5px;">ポイントが貯まる条件・特典 有効期限等の説明</div> </div>
--	---	---

7

②しかし、途中で構想が変更

「カフェ・フィットネス・地域交流スペース」3か所共有のスタンプカード

を作成することに

③そこで、

チームでカードの外見（デザイン・レイアウト）まで主体的に作成することは断念し、フロイデのサポートに回る形となった。

理由：

- ・施設全体（ここではカフェ・フィットネス・地域交流スペース）としてのコンセプトや雰囲気を学生が十分に理解できていなかった
- ・スタンプカード作成の期限（11月の施設OPEN日）が近くに迫っていた

8

8

④最終的に

学生が提案したカードの内容（記載事項・システム）を踏まえて、
フロイデがカード案を作成

学生の視点から再度検討

カードの外見（デザイン・レイアウト）にも
学生のアイデアを取り入れて、完成の運びとなった



← 完成したスタンプカード →

お名前					様
E1	E2	E3	E4	E5	
E6	E7	E8	E9	E10	
E11	E12	E13	E14	E15	
E16	E17	E18	E19	E20	
コミュニティカフェ		地域交流スペース		フィットネス	
1回の利用につき 500円につき1スタンプ		1回のご利用につき 1スタンプ		継続利用には 6スタンプ	
※各自身に携帯してください。スタンプカードの再印刷はできません。 スタンプ20個スタンプカードは500円（税込）で発行いたします。					

9

<反省>

○良かった点

- ・学生ならではの視点から提案をすることができた
- ・利用者のことを考えて、細部まで工夫・調整して作ることができた

例)

- ・特典がもらえる条件をスタンプ15個と設定
→特典がもらえる必要スタンプ数が少ない方が利用者の満足度が上がり、来店動機やリピーター創出に繋がりがやすいのではないかと考えた
- ・カードの見やすさや文字の読みやすさを調整
→フォントの大きさや強調など、メリハリを意識した

10

10

○反省点

- ・ フロイデとの情報共有・連携が不十分だった
- ・ 学生で作成したスタンプカードが実現しなかった
- ・ 共有スタンプカードに学生ならではの工夫を織り交ぜることができなかった
(特にカードの外見：デザイン・レイアウト)



「カフェ・フィットネス・地域交流スペース」共用のスタンプカードを
最初から最後まで、学生が主体となって
完成させることができなかったことが大きな反省点

11

11

<カフェのこれから>

学生・地域の人にもっとカフェを知ってもらうために

【学生・若者向け】

→SNS(Twitter・Instagram)での情報発信・宣伝の工夫

例) SNS投稿リレー&割引サービス

- 来店したお客様にカフェの食事・写真などをSNSで投稿してもらう
- 投稿画面をレジで見せてもらい、投稿してくれた人には割引サービス

カフェを利用した人→SNSを通して友達や知り合いにカフェを宣伝する→
興味を持った人たちがカフェへ訪れる→また他の人に宣伝する、伝える→…

12

12

【地域の人向け】

→気軽に訪れることができる環境づくり

例) 駐車場を利用して、露店のようなかたちでカフェを出す

→試食や、実際に提供している商品の販売（テイクアウト）を行う

→通りがかった地域の人に興味をもってもらう

→お試し感覚で、気軽にカフェを訪れるきっかけを作る

→初めてカフェを訪れる人の心理的ハードルを下げる

【カフェの棚（フリースペース）の活用】

→「茨城大学×フロイデ水戸メディカルプラザ」

ギャラリーを作る

学生の作品の販売や、活動の宣伝ができるようにする

また、学生が施設で活動した際の写真の掲示をする

期間を設定して
サークル・個人に
スペースレンタル

13

13

3) 活動② 地域交流スペースの活用

- 目的：○普段施設とは接点がない人たちに向けて、施設の宣伝をする
○施設に訪れ、慣れ親しんでもらうきっかけを作る
○定期的に施設に訪れてもらえるような仕組みをつくる
- 手段：地域交流イベント「フロイデKlasse」定期開催の提案



プレイベントとして

キャンドルクラフト教室の企画・実施

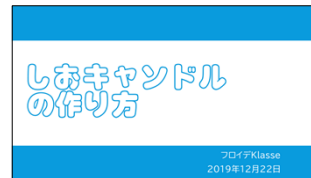
→イベント実施の効果や参加者の反応を調査し、
そのフィードバックを基に提案の修正を行う

14

14

<キャンドルクラフト教室>

- ・日時 : 12月22日(日) 14:00~15:00
※フィットネスチームのイベントと同日開催
- ・ターゲット : 学生・施設利用者・地域住民
- ・広報手段 : 施設内・施設周辺地域の自治会・保育施設でのチラシ配布
施設のSNSアカウントでの情報発信
- ・内容 : 施設紹介・クリスマスクイズ・キャンドル作り



15

<イベント当日の様子>

- 当日の参加者
→学生7名+施設入居者14名(チームメンバーは除く)



16

16

<反省>

○良かった点

- ・施設利用者と学生との交流ができた
- ・活動の内容（難易度、所要時間など）は適切だった
- ・施設利用者の方々に楽しんでもらうことができた

○反省点

- ・施設利用者以外の参加者が少なく、
施設の宣伝・訪れるきっかけづくりという目標は達成できず
- ・地域住民の参加がなかった
- ・広報活動がうまくいかなかった

17

17



当初の想定とは少し異なる形での開催となったが、施設利用者と学生の交流という形での「地域交流」のきっかけを見つけることができた

<地域交流スペースのこれから>

地域交流スペースを効果的に活用していくために

- ・ターゲットを**施設利用者**と**学生**に絞った企画を行う
→まずは、**内側の活性化**を図る／外から人を呼び込む求心力となる
- ・学生プロジェクトチーム(茨城大学)との連携
→企画の中心を学生が担う

18

18

4) 今後の展望（施設全体として）

○茨城大学(学生)との連携をもっと密に

→来年度の地域PBL授業等でのチーム活動の継続により、
学生とフロイデの**継続的な連携**をはかる

→茨城大学全体での施設の周知
茨城学等の授業前の時間などで施設・取り組みの紹介をする



施設と大学とで連携していくことは、
施設と地域・大学と地域、それぞれの連携につながる

19

19

5) フロイデ2チームの振り返り

○学生×フロイデの取り組みに関して

- ・実際の活動において、企業との連携はうまくいかないところも多かったが、学生のうちから社会人の方に協力していただいてこのような活動ができたこと、自分たちで課題について考え、一から計画し、形にすることができたことは、学びの多い経験だった
- ・大学は学びの場だが、実践できる機会はなかなかないため、今回は非常に良い実践の場となった
- ・社会人になったときにこの経験が活きると思う

20

20

ご清聴ありがとうございました！

21



1

Outline

1. 水戸市における空き家の現状
2. 2050年問題と空き家のかかわり
3. 現状の取り組み（民間・第三セクター）
4. 今後に向けて

2

なぜ空き家を放置するのか

管理が難しい。

誰が所有しているのかわからない場合も

更地で土地を所有するより、税金が安い。

「住宅用地の軽減措置特例」による固定資産税の軽減。

しかし、政府が定めた「特定空き家」に指定されると、税金の軽減がなくなる。

3



空き家の数と種類

- 空き家の総数は8,488,600戸。
- 賃貸用の住宅。 (全体の50.9%)
- 売却用の住宅。 (全体の3.5%)
- 二次的の住宅。 (全体の4.5%)
- その他の住宅。 (全体の41.1%)

総務省

「平成30年住宅・土地統計調査特別集計」

4

茨城県の現状

- 茨城県全体の空き家数。
約133万戸のうち、197200戸（15%）
- 総住宅数に占める空き家率。
総住宅数に占める空き家数の割合（空き家率）は14.8%（全国は13.6%）
- 人口は横ばいだが、高齢化、単身化により空き家の増加が予想される。

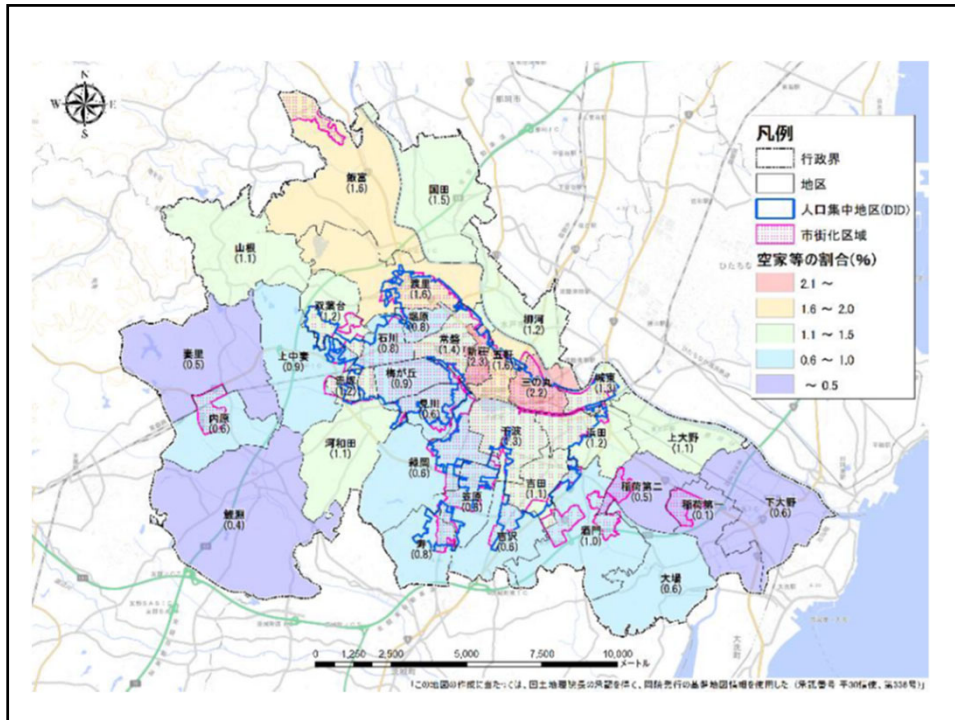
茨城県ホームページ 空家等対策

5

水戸市の現状

- 空き家総数 22,130 戸
空き家率16%
 - 不朽・損傷なし 15,140 戸
全体の68%
 - 不朽・損傷あり 6,990 戸
全体の32%
- 水戸市ホームページ 水戸市空家等対策計画

6



水戸市の対策

- 水戸市空家等対策計画

「空家等対策の推進に関する特別措置法」及び「水戸市空家等対策の推進に関する条例」を踏まえた計画。

- 計画期間

2019年～2028年の10年間。

三つの基本方針

- 空家等の発生の抑制

空き家になりやすそうな住宅の調査などによる、空き家の発生を未然に防ぐ

- 空家等の流通・利活用

空き家等の積極的な流通、活用を促す。

- 空家等の適正管理

空き家により生じる、社会的影響や適切な管理の方法等を周知。

9

2050年問題

- 少子高齢化、人口の減少・・・
- ⇒人口は約1億人まで減少
- ⇒100歳以上の高齢者が50万人を超える

- ○家余り、空き家の増加
- ○地方の消滅

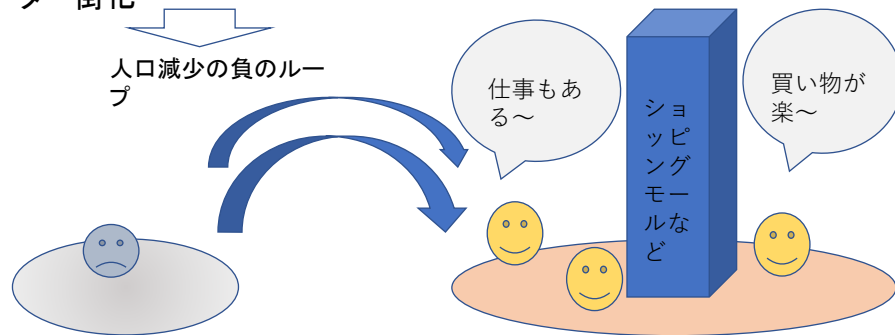
- 問題は現在進行形で起きている

10

地方市街地からの人口流出

【原因】

- 大型商業施設の存在
- ⇒人口の移動、商店街のシャッター街化



11

空き家を放置し続けると…

元の土地の所有者が亡くなる



元の持ち主を探さないと空き家に着手できない

探すのに ~~50万円~~ かかることも

12

減量住宅in水戸

2018年度より活動中
現在、水戸市袴塚3丁目の一戸建て空き家の
大家さんと交渉中。
→実現すれば当PJの改修対象として
学生による空き家再生活動を開始

13

ADDressとは？

ADDressが日本各地で運営する家に定額で住めるサービスです。

ADDressでは、定額で、

- ・好きな時に、好きな場所で、暮らしたい。
- ・都市と地方の複数の拠点を生活してみたい。
- ・リモートワークをしながら、各地の自然とふれあいたい。
- ・その土地で暮らす人たちと出会い、交流したい。

といった、新しい暮らしのかたちを実現します。

ADDressをご利用することで、働き方の多様化や、さまざまなライフプランに応じた生活スタイルの柔軟な変更を可能にします。

<https://address.love/> <https://note.com/address>

ADDress

月額4万円からの定額制
全国どこでも住み放題の多拠点
コリビング(co-living)サービス。
→魅力的で快適な物件を提供中

14

一般社団法人
LANS - Life Assist Network Service -

LANSとは LANSの取り組み LANSのネットワーク メディア掲載事例 寄付のお願い お問い合わせ

LANSとは

Facebook

■私たちLANSのミッション

住まい + 支援

「住まい」と「支援」を繋ぎ、誰もが安心して
 地域生活を送れるように支援すること <https://lans.or.jp/>

一般社団法人
LANS

①在宅支援体制のコーディネート
 ②住まいに関する生活相談・窓口開設
 ③居住支援ネットワーク、構築・啓蒙活動
 ④シェアハウスの運営

住まいに問題を抱える
 「住宅確保要配慮者」支援

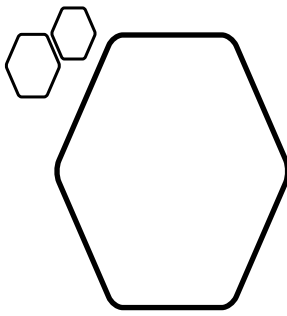
15

水戸市への提言

• 空き家対策を水戸市で普及させるために取り組むべきこと

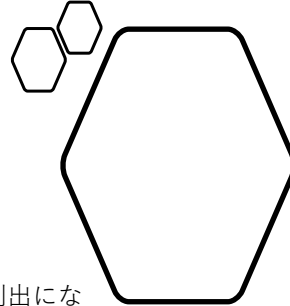
↓

• 市政日より「広報水戸」への掲載
 • 空き家の専門知識を持ったスペシャリストを置く
 • 減量住宅に興味がある人への支援
 • 減量住宅の方法の周知



16

減量住宅の周知



- セミナーの開催
→ 経験者の話を聞く機会をつくる
防災の拠点、景観保持、新たな価値の創出になるなど「空き家」をプラスなイメージに変える
- 固定資産税納税通知書の余白で適正管理等を促す文章の記載
- メディアと連携して広域に広める

17

参考文献

- e-Stat 「住宅・土地統計調査」
<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/database?page=1&layout=normal&toukei=00200522&tstat=000001127155>
- 茨城県ホームページ 空き家等対策
<http://www.pref.ibaraki.jp/doboku/jutaku/minkan/06kodate/akiyatoutaisaku.html>
- 総務省
https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/hyouka_190122.html#kekkahoukoku
- 水戸市ホームページ 水戸市空き家等対策計画
<https://www.city.mito.lg.jp/000271/000273/000284/000335/p020109.html>
- ADDRESS
<https://address.love/> <https://note.com/address>
- 一般社団法人LANS
<https://lans.or.jp/>

18

地域PBL演習 わら納豆チーム わら納豆のPRに向けて

鈴木楓子 菅原未来 寺門暁良
藤田悟瑠 三ツ井一弘 吉田紗良

1

目次

- ▶活動目的
- ▶学び1 だるま食品 高野社長
- ▶学び2 わら農家 斎藤さん
- ▶発信1 国体盛り上げイベント
- ▶発信2 「わら納豆を贈ろう」キャンペーン
- ▶活動の反省点、提案
- ▶後輩へのメッセージ

2

活動目的

課題

- ・ わら納豆の消費量が減っている
- ・ わら納豆に使う「わらづと」の生産農家が減っている



私たちにできることは？



3

私たちにできること

わら納豆のPR

→ イベントなどで
水戸市農政課の方々と協力して

最終目的

わら納豆購入者を増やし、わらの需要を増やす



4

学び1. だるま納豆 高野社長

○売れる場所と時期
観光地、サービスエリア。連休時。
→**県外の観光客がお土産として購入**

○わら納豆の魅力
わらと納豆の香りが合う



5

学び2. わら農家 斎藤さん

○わら生産の苦勞
天候による影響が大きい

台風：収穫の手間が増える
雨：通常より干す期間2日短くなる
→カビが生えやすくなる



6

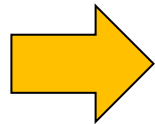
○適している品種

背の高い稲の品種（コシヒカリ等）

→背が高いほど倒れやすい

→最近では品種改良で稲の背が低く…

→わざわざ作らない



わら生産者・後継者の減少



7

発信 1.

国体盛り上げイベントでのボランティア

【わら納豆ブースについて】



- ・ 場所...水戸駅 北口
ペDESTリアンデッキ
- ・ 内容①障害福祉事業所向けのこ
による福祉グッズ販売。
- ②わら納豆のわらづとの
デコレーション体験。

8

発信 1. 国体盛り上げイベントでのボランティア

【私たちの活動】



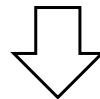
わら納豆の等身大の顔はめパネルを使い、水戸黄門像の前で記念撮影。

わら納豆の魅力や現状について説明したり、わら納豆のブースを訪れてもらえるように促す。

9

【達成できたこと・期待される効果】

- ① 海外の方や子供連れの方にも立ち寄ってもらう。
- ② 記念撮影した写真がSNSにアップされる。



普段わら納豆を食べない、わら納豆についてあまり知らない層に対してPRすることができた。

10

発信2.

「わら納豆を贈ろう」キャンペーン

- ▶ 背景...水戸市農政課が、
水戸市わら納豆推進協議会事業の一環として開催
- ▶ 活動のねらい...学生目線から、「**わら納豆のよさ**」を
アピールすること
- ▶ 期間...11月30日（土）、12月1日（日）
12月7日（土）、12月8日（日）
- ▶ 場所...京成百貨店7F催事場（お歳暮販売ブースにて）
- ▶ 内容...わら納豆のPR、試食販売、お歳暮販売促進など

11

事前準備

- ▶ 「**わら納豆のよさ**」をアピールするために...

①パネル作成

→内容...

- レシピ ■ 健康面・栄養面
- 生産背景 ■ パック納豆との違い

②試食提供のための準備

→一口サイズの納豆巻で提供したい

→物品の購入、POPの作成

12

POPの例

京成百貨店×水戸市農政課×茨城大学
わら納豆を贈ろうキャンペーン

わら納豆がわかる！！

納豆とわらの関係

そもそも、納豆とはどういう食べ物でしょうか。一般的に、納豆は「大豆を煮ず、芽は煮て柔らかくしたものを納豆菌に掛け、発酵して作る食べ物」です。この納豆菌は、空気中や土壌中など、私たちの身の周りのあらゆるところに存在しています。もちろん、わらにもたくさん納豆菌が住みかいています。現在は、培養された納豆菌が用いられることがほとんどですが、かつては煮沸消毒したわらを使って発酵させていたのです。

わら納豆が無くなってしまおう？
技術の発展に伴い、納豆の生産方法も進化

かつては、わらに包んで発酵させていた納豆でしたが、生産技術の発達に伴い、わらの代わりに豆が納豆は、パックの納豆が主流になっています。さらに、近年はわら納豆用の「種わら」を作る農家や、収穫した「種わら」を「わらつと」に加工する業者が不足しています。もし、このまま「わらつと」の供給が減少し続けたら、従来のように、わら納豆が無くなってしまふ恐れがあるのです。

パック納豆との違い

私たちの身近にある、パック納豆とわら納豆は何が違うのでしょうか。一般的に、パック納豆は、プラスチックの容器に加熱処理した大豆を入れ、湯の熱を伝えて作られています。一方、わら納豆は、わらを煮沸消毒し、加熱した大豆を詰めて作られています。さらに、わら納豆の中でも、昔ながらの手法で、わらの納豆菌で発酵させているものと、フィルムに包まれた納豆を詰めているもの2種類があります。わらで発酵させたものは、余計な水分をわらが吸収するため、風味がよいといわれています。

納豆を贈ろう

今や、スーパーやコンビニでは誰でも、手軽に納豆が買えます。でも、わら納豆を食べる機会が意外と少ないのではないのでしょうか。ちょっとした楽しみとして、大勢の人への贈り物に、特別な「わら納豆」を贈りませんか？ 美味しいわら納豆が日常に届きます。京成百貨店では、様々な納豆セットを販売しております。店舗では、だるま納豆、菅原五郎納豆、水戸納豆、天狗納豆などの商品を販売しております。

だるま納豆 だるま納豆 特選セット 3,240円	菅原五郎納豆 特選セット 3,420円	水戸納豆 賞味 3,150円	トココープズ 納豆特選セット 3,880円
-----------------------------------	---------------------------	----------------------	-----------------------------

※上記の商品は一例です。

京成百貨店×水戸市農政課×茨城大学

11/30(Sat). 12/1(Sun). 12/7(Sat). 12/8(Sun).

**数量限定
わら納豆
試食販売中**

お歳暮にわら納豆を贈りませんか？
本日は、風味豊かなわら納豆を納豆巻きにしました。
ぜひお試しください！

13

当日の様子



14



15

良かった点

◎ お歳暮販売時の納豆巻きを試食が好評



- ・ シンプルにわら納豆の味をわかりやすく伝えられた
- ・ 小さな子供でも食べやすく、実際に食べてもらうことができた

16

良かった点

◎わら納豆のわらの香りを伝えることができた

- ・わら納豆の良さの一つが香り
 - ・本物のわらを持って行き、においを嗅いでもらった
- ⇒わら納豆にしかない良さのアピール

17

反省点

◎農政課さんとの連携不足

- ・当日の動きや細かい部分に関する情報共有が必要

18

反省点

◎ 説明の一本化をすべき

わら納豆の魅力に関することの宣伝
(栄養、健康面、非日常感、贅沢感...)

+

福祉施設との福藁プロジェクト
ギフトプレゼントキャンペーン

↓

説明することが多すぎる！

19

現場で感じたこと

- ▶ わら納豆を食べたことのないお客さんが多い
- ▶ 客側の視点から見ると馴染みの無い食べ物
 - ⇒ 自分がよく知らないものを相手に送るの難しい？
- ▶ 普通の納豆との違いを知りたがっていた
 - ⇒ 差別化の必要性

20

国体盛り上げイベント来場者の意見

- ・ イベントの場でわら納豆は売っていないのか
- ・ わら納豆が売っていると思って来た

21

「わら納豆を贈ろう」キャンペーン 来場者の意見

- ・ お歳暮が安すぎる、もしくは高すぎる
- ・ わら納豆一つの量が多すぎて食べきれない
- ・ 保存期間が短い

22

提案

◎わら納豆を食べるイベントを増やす

⇒まずはわら納豆を馴染みあるものにしなければならない

- ・わら納豆を知ってもらい、食べてもらう
- ・イベントの場でわら納豆の販売も行う

◎お歳暮の金額バリエーションを増やす

- ・松、竹、梅のような値段設定

23

提案

◎ミニわら納豆の製造と販売

- ・わら不足の解消にもつながる可能性

◎真空パックなどによる保存期間延長

- ・冷凍保存の提案はあまり好意的な反応ではなかった

24

後輩へのメッセージ

- ▶ 私たちの学びを基に、新たな発信を
- ▶ 来年度も活動を続けて欲しい



25

参考URL

- ▶ <https://mainichi.jp/articles/20160212/dtl/k08/040/093000c>
- ▶ <https://www.bing.com/images/search>
- ▶ <http://www.darumanatto.jp/items/giftno3/>
- ▶ <https://www.city.mito.lg.jp/web/mitoshidou/png/map.png>
- ▶ <https://4.bp.blogspot.com/>
- ▶ https://futoru-bible.com/wp-content/uploads/2019/02/shutterstock_500381137-718x479.jpg

26

ご清聴ありがとうございました

茨城大学人文社会科学部 地域志向教育プログラム

「地域 PBL 演習」(2019 年度 前期・後期)

ありがとうございました